

どうなってるの?!

平成30年度決算報告

町のお財布の中身とは!?

町民1人あたりの町税収入は、**90,108円**
 町民1人あたりの国・県からくるお金は、**671,829円**
 町民1人あたりに使ったお金は、**1,041,517円**でした。

19億8,117万円

36億0,032万円

歳入 55億8,149万円

自主財源	町税	4億8,289万円	(8.7%)
	使用料及び手数料	7,290万円	(1.3%)
	繰入金	7億7,276万円	(13.8%)
	繰越金	2億3,184万円	(4.2%)
	その他	4億2,078万円	(7.5%)
依存財源	地方交付税	21億1,500万円	(37.9%)
	国庫支出金	2億7,175万円	(4.9%)
	県支出金	3億8,027万円	(6.8%)
	町債	8億3,330万円	(14.9%)

歳出 53億152万円

義務的経費	人件費	6億1,723万円	(11.6%)
	扶助費	2億5,467万円	(4.8%)
	公債費	4億6,979万円	(8.9%)
	物件費	6億3,503万円	(12.0%)
	補助費等	6億7,829万円	(12.8%)
一般行政経費	維持補修費	2億 332万円	(3.9%)
	積立金	5億3,097万円	(10.0%)
	出資金及び貸付金	600万円	(0.1%)
	繰出金	5億3,078万円	(10.0%)
	普通建設事業	7億2,823万円	(13.7%)
投資的経費	災害復旧事業	6億4,721万円	(12.2%)



特別会計と企業会計

町では、特別会計（公共料金や保険料などの特定の収入を特定の目的のために使う会計）と水道事業会計を一般会計と区別していません。利用料や保険料などで足りない分のお金は、国のルールに基づき一般会計から出しています。今後も、その事業ごとに適正な利用料などを設定して、健全に運営していくことが求められます。

	歳入	歳出
国民健康保険事業	6億2,995万円	5億9,744万円
後期高齢者医療事業	7,000万円	6,813万円
介護保険事業	7億3,230万円	6億9,332万円
農業集落排水事業	2億4,069万円	2億3,835万円
公共下水道事業	1億9,491万円	1億9,284万円

	歳入	歳出
水道事業収益的収支	2億 165万円	2億2,923万円
水道事業資本的収支	4,046万円	7,713万円

収益的 ※水道水を作り、各家庭へ届けるための費用。
 資本的 ※水道管などの施設整備費用や借入金の返済。

【目的別】私たち1人あたりに使ったお金

目的別	1人あたりに使ったお金	説明
議会費	13,267円	議会の運営に使いました。
総務費	224,156円	行政全般の運営管理に使いました。
民生費	151,222円	障がい者や高齢者、子育てなどの福祉に使いました。
衛生費	34,275円	保健や環境・衛生の向上などに使いました。
農林水産業費	94,775円	農業や林業などの振興・管理や整備に使いました。
商工費	16,169円	工業や商業、観光の振興に使いました。
土木費	155,542円	道路や橋、町営住宅、公園の整備などに使いました。
消防費	31,467円	消防や救急、消防団の活動などに使いました。
教育費	62,792円	小中学校や図書館、体育館などの管理運営に使いました。
災害復旧費	117,946円	災害被害の復旧などに使いました。
公債費	87,664円	町債（町の借金）の返済に使いました。

使ったお金は?

町の財布から使ったお金（歳出）は53億152万円でした。その内訳は、人件費などの義務的経費が13億4,169万円、物件費などの一般行政経費で25億8,439万円、道路を整備したり、災害の復旧にかかる投資的経費で13億7,544万円使ったことがわかります。

決算は黒字です

平成30年度は、前年度より歳入が2億4,915万円、歳出が2億9,728万円それぞれ減少しました。また、歳入から歳出を差し引いたお金の余剰金は2億7,997万円、決算は黒字となりました。余剰金は、翌年度に繰り越されま

収入はどのくらい?

町の財布に入ってきたお金（歳入）は55億8,149万円。みなさんから納めていただいた大切な税金（町民税、固定資産税、たばこ税等）や使用料及び手数料などのお金（自主財源）が19億8,117万円、全体の35.5%を占めています。また、国から交付される地方交付税や、国や県からの補助金、町債などのお金（依存財源）は36億32万円でした。

町の主な事業を 紹介します

- 公共土木施設災害復旧事業
平成30年8月豪雨により被災した町道や河川の復旧を行なった。
2億4,104万円
- 稻生育管理システム等開発事業
人工衛星の画像データをを用いて生育状況を可視化し、水稻の栽培管理を行い、米の高品質化につながるシステムを開発した。
120万円
- 舟形町総合戦略推進事業
住民主体の地域づくり事業でワークショップを実施し、少子高齢化・人口減少時代に対応した地域づくりの推進を図った。
267万円
- 公共交通事業
（デマンド型乗合タクシー）
町民のみなさんに利便性の高い交通手段の確保のため、町営バスに代わり、新たにデマンド型乗合タクシーの運行を開始した。
676万円